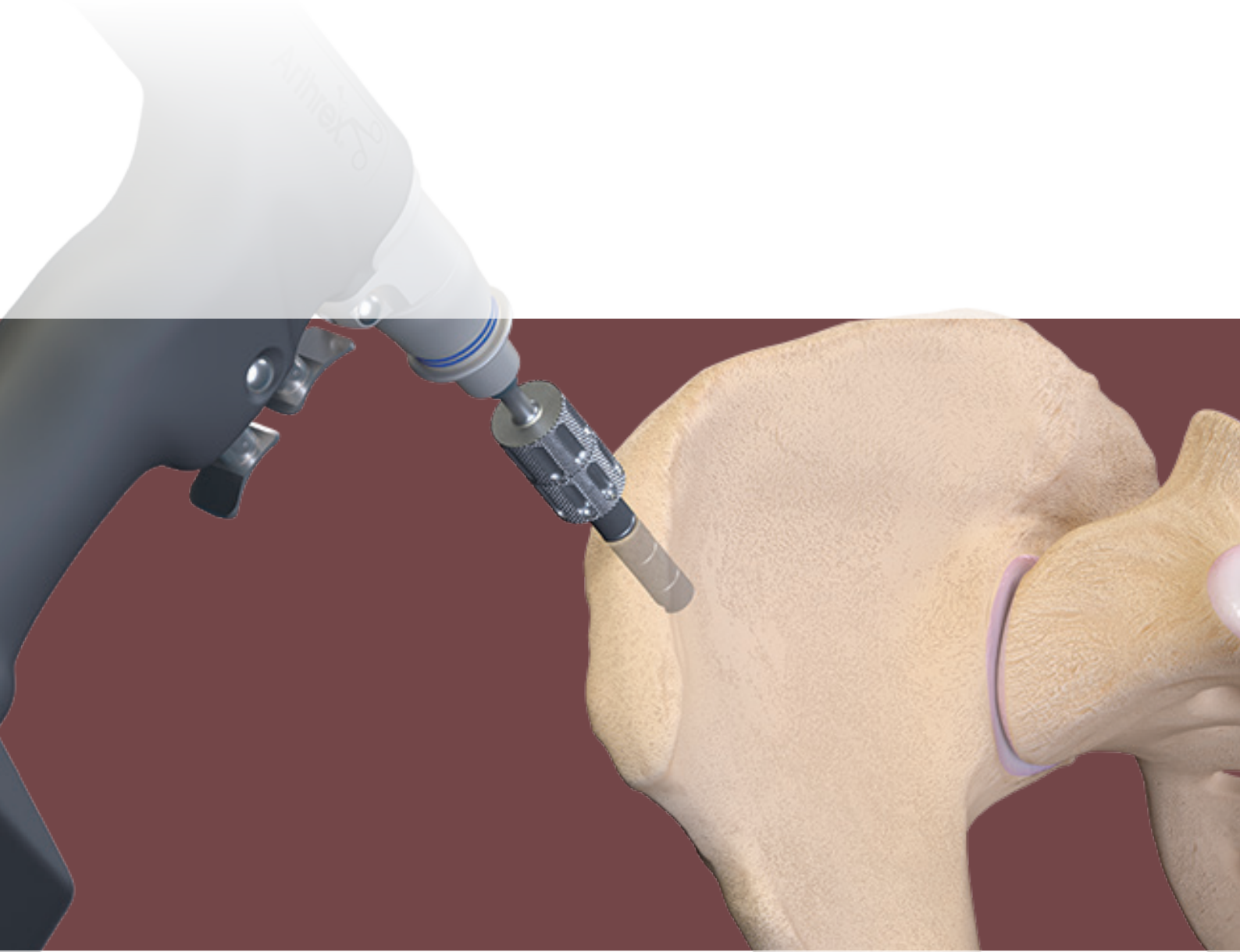


OsteoAuger™ Bone Graft Harvesting System

Surgical Technique



OsteoAuger™ Bone Graft Harvesting System

Introduction

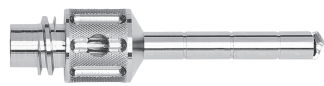
滅菌済みのOsteoAugerボーンハーベスターシステムによって、細片化された自家骨を迅速かつ効率的に採取できます。自家骨には患者自身の生細胞がもともと含まれているため、細胞、シグナル、スキャフォールドを備えた自家骨を骨折部位や癒合部位に供給することができます。

OsteoAugerシステムは、腸骨稜、踵骨、脛骨遠位端および近位端、橈骨遠位端などの一般的な採取部位で使用することができます。システムは6 mm、8 mm、10 mmの直径があるため、さまざまな採取部位と必要な移植片量に対応が可能です。

ボーングラフトプランジャー



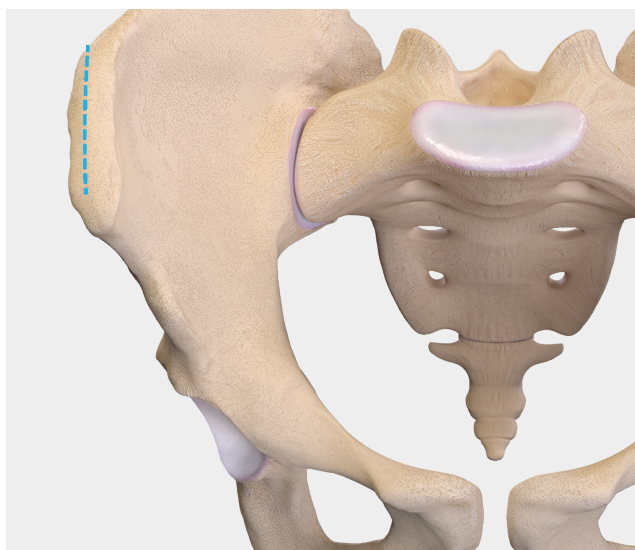
AO接続部



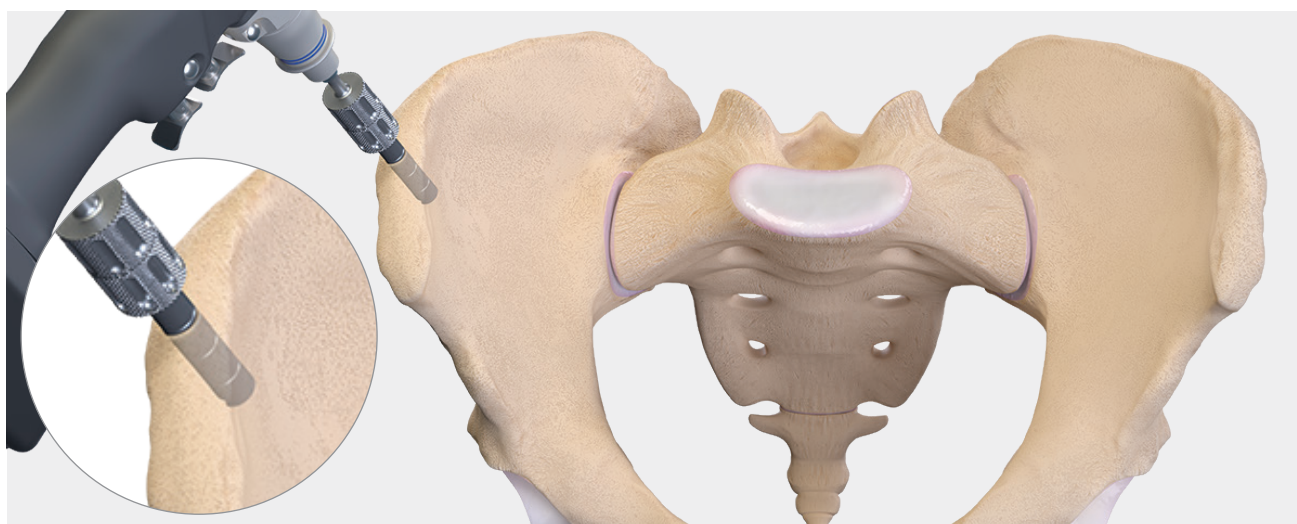
トレフィン



Anterior Iliac Crest Harvesting



1. 腸骨稜に沿って皮膚を切開します。切開は腸骨結節に向かって行います。外側大腿皮神経の経路は多岐に渡るため、上前腸骨棘 (ASIS) より前方にそれないようにしてください。
2. 切開は、選択したボーンハーベスターの直径よりもわずかに長くします。
3. 皮膚切開後、前方の外腹斜筋の筋膜と後方の中殿筋の間の縫線を確認します。腸骨翼上を直接切開します。
4. 稜上に限定して骨膜を剥離します。



5. レトラクターを使用すると露出が容易になります。
6. OsteoAuger™システムではパイロットホールを作成する必要はありません。
7. 部品同士をねじ込んでトレフィンとAO接続部を組み立てます。
8. 骨が露出している骨採取に適した場所に、ボーンハーベスターの先端部を配置します。
9. ハーベスターを腸骨翼に沿って傍矢状面から40°内側に傾けます。
10. 動力下で、ボーンハーベスターを望ましい深さまで骨内に進めます。リーミング中および抜去中は、AO接続部からトレフィンが外れるのを防ぐために、正回転でドリリングを続けます。
11. ボーンハーベスターの方向を変えることで、ハーベスターに追加で自家骨を採取することができます。採取した骨を取り出す前に、追加で最大3回までの方向転換による骨採取を行うことができます。
12. トレフィンをAO接続部から取り外し、ハーベスターを分解します。
Note: 分解しづらい場合は、ボーングラフトプランジャーのハンドルの末端をハーベスター側面に挿入し、部品のねじを緩めやすくすることができます。
13. 滅菌容器の上で、プランジャーをハーベスターの遠位端に挿入し、骨移植片を近位端から押し出すことにより、細片化された自家骨を取り出します。

Posterior Iliac Crest Harvesting

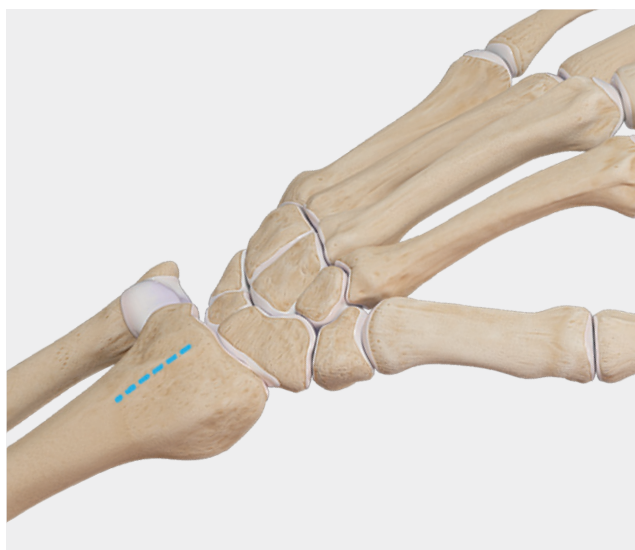


1. 望ましい位置の上後腸骨棘（PSIS）上を小さく切開します。
2. 切開は、選択したボーンハーベスターの直径よりもわずかに長くします。
3. 切開は、PSISに対して約8 cm上外側で交差する上殿皮神経に到達しないようにします。
4. 稜上に限定して骨膜を剥離します。
5. レトラクターを使用すると露出が容易になります。
6. OsteoAuger™システムではパイロットホールを作成する必要はありません。

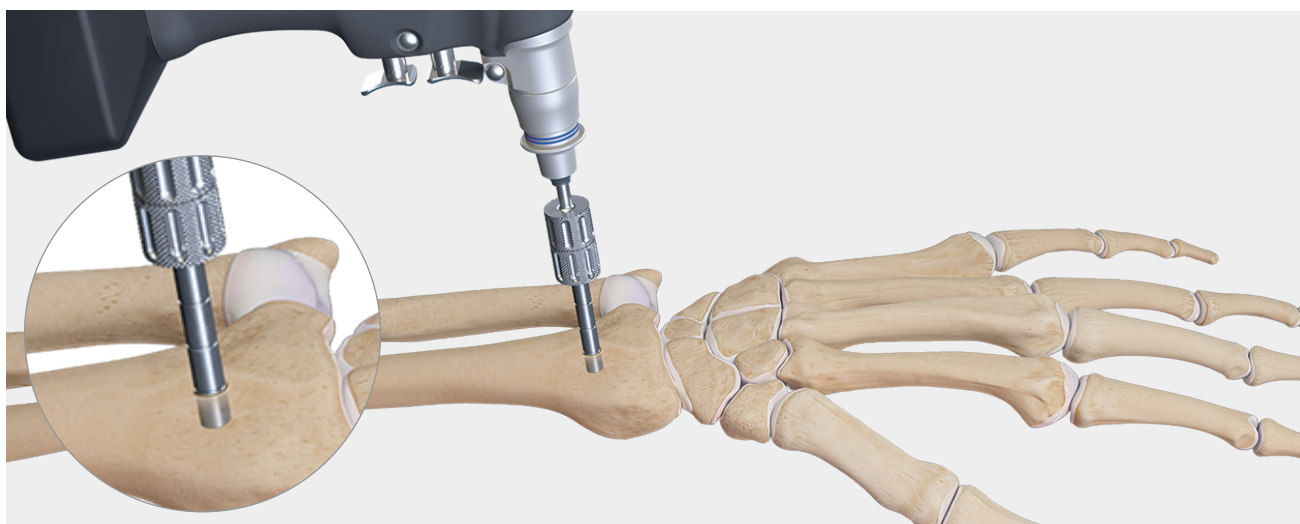


7. 部品同士をねじ込んでトレフィンと AO接続部を組み立てます。
8. ボーンハーベスターの先端部を露出した腸骨稜の中央に配置し、傍矢状線に対して内側に約25°傾けます。
9. 動力下で、ボーンハーベスターを望ましい深さまで骨内に進めます。リーミング中および抜去中は、AO接続部からトレフィンが外れるのを防ぐために、正回転でドリリングを続けます。
10. ボーンハーベスターの方向を変えることで、ハーベスターに追加で自家骨を採取することができます。採取した骨を取り出す前に、追加で最大3回までの方向転換による骨採取を行うことができます。
11. トレフィンをAO接続部から取り外し、ハーベスターを分解します。
Note: 分解しづらい場合は、ボーングラフトプランジャーのハンドルの末端をハーベスター側面に挿入し、部品のねじを緩めやすくすることができます。
12. 滅菌容器の上で、プランジャーをハーベスターの遠位端に挿入し、骨移植片を近位端から押し出すことにより、細片化された自家骨を取り出します。

Distal Radius Harvesting

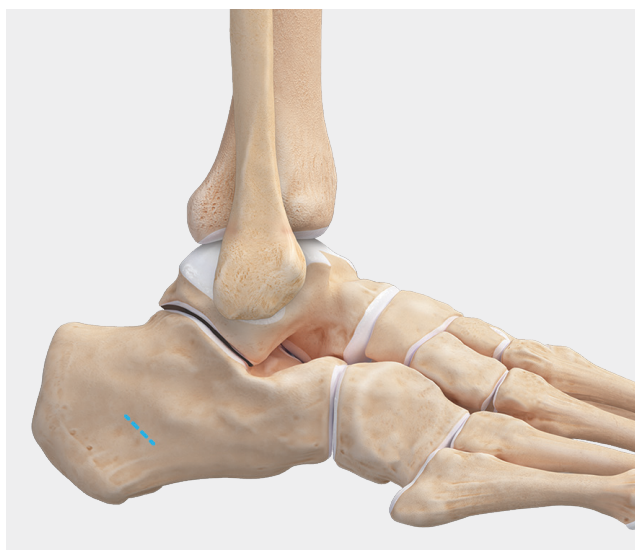


1. 出血を最小限に抑えるために止血帯の使用を推奨します。
2. 背側アプローチを使用することができます。
3. リスター結節の近位で、第3背側区画と第4背側区画の間を3 cm切開します。
4. 伸筋支帯近位の筋膜を切開します。
5. 自家骨を採取する際は、損傷を回避しながら骨の最適な視野を得るために、軟部組織と周囲の構造をレトラクトすることを推奨します。
6. OsteoAuger™システムではパイロットホールを作成する必要はありません。



7. 部品同士をねじ込んでトレフィンと AO接続部を組み立てます。
8. 骨が露出している骨採取に適した場所に、ボーンハーベスターの先端部を配置します。
9. 動力下で、掌側皮質を侵すことなく、ボーンハーベスターを望ましい深さまで骨内に進めます。リーミング中および抜去中は、AO接続部からトレフィンが外れるのを防ぐために、正回転でドリリングを続けます。
10. ボーンハーベスターの方向を変えることで、ハーベスターに追加で自家骨を採取することができます。採取した骨を取り出す前に、追加で最大3回までの方向転換による骨採取を行うことができます。
11. レフィンとAO接続部の接続を取り外し、ハーベスターを分解します。
Note: 分解しづらい場合は、ボーングラフトプランジャーのハンドルの末端をハーベスター側面に挿入し、部品のねじを緩めやすくすることができます。
12. 滅菌容器の上で、プランジャーをハーベスターの遠位端に挿入し、骨移植片を近位端から押し出すことにより、細片化された自家骨を取り出します。

Calcaneus Harvesting



1. 踵骨の外側、腓骨腱および腓腹神経の後方および下方を小さく切開します。

Note: X線透視により、切開位置の決定を補助することができます。

2. 鈍的切開で、踵骨の外側壁まで切開を続けます。
3. 切開は、選択したボーンハーベスターの直径よりもわずかに長くします。
4. OsteoAuger™システムではパイロットホールを作成する必要はありません。
5. 部品同士をねじ込んでハーベスターとAO接続部を組み立てます。

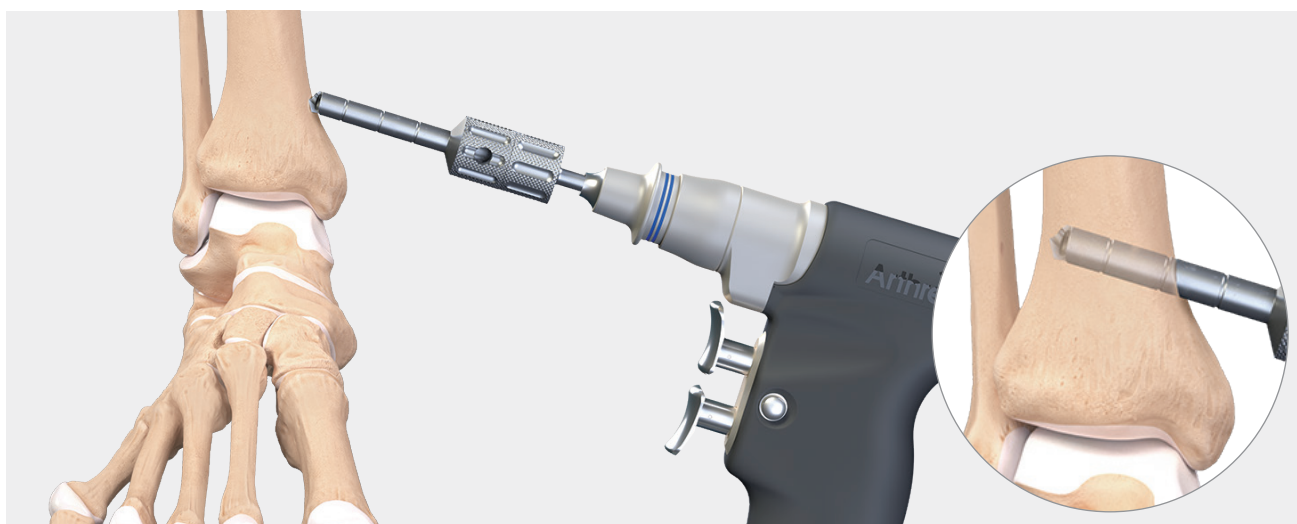


6. 自家骨を採取する際は、損傷を回避しながら最適な視野を得るために、軟部組織と周囲構造をレトラクトすることを推奨します。
7. 骨が露出している骨採取に適した場所に、ボーンハーベスターの先端部を配置します。
8. 動力下で、内側皮質を侵すことなく、ボーンハーベスターを望ましい深さまで骨内に進めます。リーミング中および抜去中は、AO接続部からハーベスターが外れるのを防ぐために、正回転でドリリングを続けます。
9. ボーンハーベスターの方向を変えることで、ハーベスターに追加で自家骨を採取することができます。採取した骨を取り出す前に、追加で最大3回までの方向転換による骨採取を行うことができます。
10. トレフィンとAO接続部の接続を取り外し、ハーベスターを分解します。
Note: 分解しづらい場合は、ボーングラフトプランジャーのハンドルの末端をハーベスター側面に挿入し、部品のねじを緩めやすくすることができます。
11. 滅菌容器の上で、プランジャーをハーベスターの遠位端に挿入し、骨移植片を近位端から押し出すことにより、細片化された自家骨を取り出します。

Distal Tibia Harvesting



1. 神経血管構造を避けるために、骨幹端フレア上の正中線のやや後方の脛骨遠位内側を小さく切開します。
Note: X線透視により、切開の位置決めに補助することができます。
2. 切開は、選択した骨移植片ハーベスターの直径よりもわずかに長くします。
3. OsteoAuger™システムではパイロットホールを作成する必要はありません。
4. 部品同士をねじ込んでハーベスターと AO 接続部を組み立てます。



5. 骨移植片を採取する際は、損傷を回避しながら最適な視覚化を得るために、軟部組織や周囲構造をレトラクトすることを推奨します。
6. 骨が露出している骨採取に適した場所に、ボーンハーベスターの先端部を配置します。
7. 電動下で、外側皮質を侵すことなく、骨移植片ハーベスターを望ましい深さまで骨内に進めます。リーミング中および抜去中は、AO接続部からハーベスターが外れるのを防ぐために、前方にドリリングを続けます。
8. カットングドリルの方向を変えることによって骨移植片ハーベスターにパスを追加することができます。採取した骨を取り出す前に、最大3回のパスの追加を行うことができます。
9. トレフィンとAO接続部の接続を取り外し、ハーベスターを分解します。
Note: 分解しづらい場合は、ボーングラフトプランジャーのハンドルの末端をハーベスター側面に挿入し、部品のねじを緩めやすくすることができます。
10. 滅菌容器の上で、プランジャーをハーベスターの遠位端に挿入し、骨移植片を近位端から押し出すことにより、細片化された自家骨を取り出します。

Ordering Information

製品名	製品番号
OsteoAuger ボーンハーベスターシステム 6 mm	ABS-8000-06
OsteoAuger ボーンハーベスターシステム 8 mm	ABS-8000-08
OsteoAuger ボーンハーベスターシステム 10 mm	ABS-8000-10

販売名	承認等番号	一般的名称	規制区分	機能区分
単回使用 DEX 手術用器械	230ADBZX00095000	単回使用整形外科用バー	クラス II	非該当

● 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

製造販売元

Arthrex Japan合同会社

〒163-0828 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル28F

TEL: 03-4578-1030 FAX: 03-4578-1029 LT7-000208-ja_JP_A

